



熊本市立 大江小学校

# ときめき

2024.7.16 (火)

No. 54

文責  
松永

## 四年生「水循環（上下水道）出前教室」が行われました



熊本市の水道事業は、大正13年11月27日に通水が開始されたそうで、今年度100周年を迎えるそうです。4年生では、6月26日(水)に公益財団法人 熊本市上下水道サービス公社による「水循環（上下水道）出前教室」がありました。社会科「水とわたしたちの暮らし」の学習の一環で、講師としておいでいただいたお二人により、各クラス1時間ずつの授業

が展開されました。地下水でまかなわれている熊本市の水道水の一日の配水量は約22万 $m^3$ 、これが学校のプール730杯分とのことで驚きの声が上がっていました。大江校区の水道は、38の水源の中の一番大きな健軍水源地から届けられているそうです。ポンプ加圧式、自然降下式といった専門的な内容も教えていただきました。後半は、下水道についての話でした。使った水を浄化センターできれいにして川に流すようにするそうですが、微生物を使って24時間かけてきれいに行っていること、下水管をつなぐと2722kmになること、一日にプール約800杯分の水をきれいに行っていること、きれいにして自然に返すのが「水循環」ということも知ることができました。さらには、24時間安全な水道水を無駄なく届けられるようにしていることから、できる「節水」（歯みがきの時にコップを使う、シャワーを使う時はこまめに水を止める、トイレの水を流す時はレバーの使い分けをする など）に努めてほしいとも話がありました。最後に、「熊本の水」を当てる利き水体験があり、アメリカ、フランス、熊本の水を飲み比べてみると、微妙に違いを感じました。硬水、軟水という言葉についても説明がありました。残念ながら不正解でしたが（子どもは正解多数）、熊本の水のおいしさ、そしてありがたさを実感しました。そして、一日に使う水道水の量が、500mlのペットボトル444本分、222リットルと聞いて、水資源にも限りがあるので無駄なく使うことを忘れてはいけないと、改めて考える機会になりました。

